**プロジェクトマネジメントをサポートするWebアプリケーションに関する研究**

PMコース　矢吹研究室　0842062　工藤　亮

1. 研究の背景

プロジェクトマネジメントのためのガイドであるPMBOKによれば，成功するプロジェクトのためのマネジメントは，プロジェクトマネジメント・プロセス郡と知識エリアの分類の表の実行プロセスを実行していくことになっている．例えば，私たちが過去に経験したプロジェクト「オリジナルデザインカード受注システム」では，具体的に以下のようなマネジメントをおこなった．

* 作業内容や計画書，会議内容などの書類は提出以外，パソコンで記録データを管理した
* リーダーから各メンバーへは直接指示するか，メールでの指示で作業や連絡をした
* 会議以外ではミーティングはせず，会議内で必ず次の会議まで作業内容を決定し，作業分担した
* 作業に関する詳細なことは会議以外でリーダーとメンバーで確認した

しかし，ここで挙げたPMの実現方法には，以下のような問題があった．

1. 文書の最新版がどこか，わからないこともある
2. メールでの作業に関する確認履歴が管理できず，過去の確認内容が把握できない
3. チームメンバー全員の予定が合わず集まることが難しい
4. メールだと作業に関する細かい相談ができない
5. 作業時に予定より作業時間がかかって遅延しそうなこともある

1の問題の「文書の最新版がどこか，わからないこともある」は，バージョン管理システムなど，文書の取り扱い方を厳密に決めることで解決できる．2の問題の「メールでの作業に関する相談履歴が管理できず，過去の相談内容が把握できない」は，1の問題のバージョン管理システムをメール用にして，メールの取り扱い方を厳密に決めることで解決できる．3の問題の「チームメンバー全員の予定があわず集まることが難しい」と，4の問題の「メールだと作業に関する細かい相談ができない」と，5の問題の「作業時に予定より作業時間がかかって遅延しそうなこともある」は，チームメンバーの次の会議までの詳細なスケジュールを明確化し，いつでも閲覧出来るようにすることでスケジュール調整ができ，それぞれの問題解決できる．

　つまり，プロジェクトを成功させるためには，PMBOKで提示された指針の，具体的な実現方法がもとめられる．具体的な方法としてWebアプリケーションの導入を検討する．

Webアプリケーションを導入しそこで決められた方法内で作業することを強いることにより，戦術の解決策としてバージョン管理システムなどを取り入られることによりPMにおける問題を回避できると考えられる．

そこで本課題研究では，プロジェクトマネジメントにWebアプリケーションを導入する可能性について調査した．

1. 研究の目的

プロジェクトを進めるにあたり作業の遅延や文書の捜索などの発生する問題を早期解決しスケジュール遅延が起こらず計画通り進めるにはどうすれば良いかと考えた．

その結果，情報共有・交換を早急にすることにより問題解決が可能になると考えた．

よって，情報共有・交換を早急にする方法としてWebアプリケーションを導入し，作業遅延の回避と作業の効率化を図ることを目的とする．

1. プロジェクトマネジメントとの関連

PMBOKによる具体的な実現方法をWebアプリケーションによるPMとの関連項目は，プロジェクト統合マネジメント，プロジェクト・タイム・マネジメント，プロジェクト人的資源マネジメント，プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント，プロジェクト・リスク・マネジメントが関連している．

1. 研究の方法

(1)PMBOKのプロジェクトマネジメント・プロセス郡と知識エリアの分類の表を参照しプロジェクトマネジメントの作業項目でWebアプリケーションによって効率化できるものとできないものに判別する

(2)Webアプリによって効率化できるWebアプリケーションを調査する．

(3)PMBOKのプロジェクトマネジメント・プロセス郡と知識エリアの分類の表とプロジェクトマネジメントのタスク内容と照らし合わせ，作業項目ごとに効率化できるWebアプリケーションを提案する．

1. 現在の進捗状況

研究方法(1)の作業によって効率化できるものを判別できた．研究方法(2)は終了した．研修方法(3)の提案として，Facebookのグループ機能やメッセージ機能による情報共有やタスクの割り振りを検討している．また，cybozu．comによって，スケジュール管理・調整，プロジェクトのタスク管理や調整やコミュニケーション方法と速度の向上，資源見積もり，報告書などの情報交換や共有・管理ができることがわかっている．

1. 今後の計画

以下表の内容で本計画を進行していく予定ある．

|  |  |
| --- | --- |
| 2012年12月 | 中間発表 |
| 2013年1月～3月 | 本研究の研究方法(1)で効率化できないものを別の方法で効率化できないか調査していく |
| 2013年4月～6月 | 別の方法がないか調査し，見つからなかった場合，独自の方法を考察する |
| 2013年7月～10月 | 独自の方法によって効率化できる方法を作成 |

参考文献

[1] Cybozu,Inc.cybozu.com.http://cybozu.co.jp/

[2] Project Management Institute,Inc.プロジェクトマネジメント知識体系ガイド.第4版.2009-12.

[3] 松宮義仁． 仕事で使えるフェイスブック活用術． フォレスト出版， 2011-8-16．

[4] ループス・コミュケーションズほか. ひとつ上のFacebookマネジメント術情報収集. 技術評論社,2011-3-25.